

国分寺駅・西国分寺駅周辺整備 特別委員会記録

とき 令和7年12月11日

国分寺市議会

国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会

令和7年12月11日（木）

○ 出席委員

委員長	寺嶋 たけし
副委員長	新海 栄一
委員	鈴木 ちひろ
	小坂 まさ代
	松岡 まり
	鳥居 あかね
	森田 たかし
	はせべ 豊子
	皆川 りうこ
	木島 たかし

○ 審査事項

《報告事項》

- (1) 西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況について
- (2) その他

1 陳情第7-5号 c o c o b u n j i E A S Tビル1階店舗共用扉の自動ドア化を求める陳情

午前9時31分開会

○寺嶋委員長 おはようございます。ただいまから国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会を開会いたします。

冒頭、建設事業課長より、公務のため終日欠席する旨の届出がございましたので御報告いたします。



○寺嶋委員長 それでは、報告事項を受けたいと思います。

報告事項1番 西国分寺駅北口駅前エリアの検討状況について、報告をお願いします。

○細江駅周辺整備課長 おはようございます。よろしくお願ひいたします。本日は、令和7年11月7日と8日に実施しました勉強会について、報告いたします。

今回の勉強会開催に当たりまして、資料の説明や質疑への対応についての一部は、当該検討業務を委託しているコンサルタント事業者である日本工営都市空間株式会社と共に実施しているところでございます。なお、この委託事業者につきましては、前回の本委員会でも触れましたが、公募型プロポーザルにより選定された事業者であります。委託事業者には、街区整備方針策定に向けた検討の支援業務として、勉強会などの合意形成の手法検討や開催支援、調査設計や事業スキームの検討をはじめとした整備事業の実現に向けた検討の支援業務を委託しているところでございます。

それでは、本日の資料でございますけれども、勉強会開催概要と当日の主な意見等をお示ししてまいります。

まず、開催概要でございますが、2日にわたり3回実施しまして、31名の方の参加並びにウェブ参加2名といった状況でございました。

資料の3番目の当日の主な意見等を2ページ目以降にまとめてございます。当日いただいた主な御意見をカテゴリーに分けまして、概要をお示ししているというところでございます。

まず、整備実現に向けた今後の進め方と今年度の検討内容については、勉強会の開催頻度を増やしてほしいといった趣旨の御意見や、もっと早く日程を示してほしいといった御意見をいただいたところでございます。

それから、カテゴリーでいいますと街区整備方針作成のための都市基盤の具体化、それから事業エリアの考え方、あと公共施設配置の考え方については、勉強会当日に具体例を示したという内容でございまして、これは長期にわたると想定される事業ですので、懸念を示す御意見もいただいたところでございます。

その他としましては、整備事業によって権利者が具体的にどのような影響を受けるのかといった趣旨で事業の説明を求める御意見、それから、参加されている方々の当該エリアのこれまでの成り立ちについての理解度が様々異なるといった御指摘を含めた御意見をいただいたというところでございます。

今回につきましては、前回開催より少し時間が空いたこと、それから内容についてもややボリュームが多い上、かなり具体的な内容も含まれていたということから、懸念を示す御意見もあったかと捉えているところでございます。

ただ、まずは都市基盤や公共施設の配置を決めていかないと、そもそも市街地整備が進みませんので、やや専門的な内容を盛り込んだというところでございます。この点については、参加者の方々にはなかなか御意見しづらい点や、理解が進まなくて不安の声があったのではと感じているところでございます。今後も具体化を図るためには、専門的内容は含みますが、今回いただいた御意見を踏まえまして、権利者の方々がどのような情報を求めているのかといったことを捉えながら、適切なテーマや内容を検討してまい

りたいと考えているところでございます。

最後に、次回の勉強会開催予定ですけれども、年明けの令和8年1月23日金曜日と24日土曜日を予定しているところでございます。基本的な内容としては資料にお示ししているとおりでございますが、現在、詳細について検討しているというところでございます。

簡単ではございますが報告は以上です。

○寺嶋委員長　ありがとうございます。報告が終わりました。質問のある方は挙手を願います。

○皆川委員　おはようございます。よろしく申し上げます。本件に関しましては、たまたま先日の勉強会を傍聴させていただきまして、ありがとうございます。

最近なんですけど、このエリアのアパートを借りて住んでいらっしゃるという方なんですけど、西国分寺駅北口周辺まちづくりニュースがポスティングされていたということで、お問合せをいただきました。これまで26号まで発行されて、今回、27号がポスティングされていて、その方は最近そこに引っ越したばかりなのでこの経緯が全く分からないんだけど、自分はアパートを借りている1人として、このことがどういう影響があるのか、どういう人が対象になるのかよく分からないので教えてほしいという話でした。一応確認はしているところなんですけれども、改めてこういう場ですので、今は勉強会という段階なんですけれども、特に今後どのようにしていくか、対象者も含めて教えていただければと思います。

○細江駅周辺整備課長　この勉強会の参加対象者というのは、現在検討している4.5ヘクタールのエリアの中に、土地もしくは建物の権利をお持ちの方々を対象にピックアップして、こちらから郵送で御案内して参加を呼びかけているという状況でございます。まずは、現在の検討状況としては、先ほどから申し上げているとおり都市基盤と公共施設の配置、いわゆる都市の軸となるところを検討しているところで、直接的に生活だとか、御自身の権利に関わる関係者の方々にまずはお声がけさせていただいて、御意見を様々ないただいて、こういった都市基盤を決めてまいりたいと考えているところでございます。この検討が進むにつれてより具体的な内容が見えてくると思いますので、その具体的な内容に応じて、どのような方々から御意見をいただくかといったことは、今後、検討してまいりたいと考えております。

○皆川委員　ということは、私にお問合せされた方は、恐らくはまだ先のことだろうということも申し上げているんですが、そういう認識でいいということですね、それについては段階的に進めていただければと思います。

それと、過日の勉強会ということでは、致し方ないのかなと思いますが、何か硬い感じなんです。ワークショップでもないですからしょうがないのかなと思うんですけど、時間帯も昼間の時間と夜といろいろ工夫はされているようなんですけども、権利者、御自分が持っている土地もしくは建物の権利がどうなるかというのは大変重要なところだと思いますので、より対象者の方には今後参加していただきたいと思うんですが、勉強会の形式というのは、ああいう感じにならざるを得ないのか、コンサルタントの方が、当事者の方の周りを囲む感じなのです。だから、ちょっと話しにくいかなというように思ったんですが、いかがですか。

○細江駅周辺整備課長　第1回、それから次回もそうなんですけども、現在は、都市基盤といった非常に極めて専門的な内容を含まないと検討ができないといったところですので、どちらかというところ、やや説明会といいますか、検討の結果こういった案が考えられましたといった説明のボリュームが少し多かったのかなというところは受け止めているところでございます。今後は、様々なことを検討しなくてはならないところの中で、例えばワークショップといった手法も考えられるのではないかと考えております。

今後も、こういった勉強会を開催しながら、やり方については、様々工夫してまいりたいと考えておりますので、今後もこのやり方というわけではございません。

○皆川委員 分かりました。私も傍聴してみてもそのような感想を持ったということで申し上げました。今日も資料の中に写真がありますので、行かない方も何となく雰囲気は分かるかなと思うんですけども、私が傍聴したのは11月7日金曜日の7名のときでした。和気あいあいということまでは求めませんけれども、何となく話しにくいんじゃないかなという気がしました。その件に関しましては、今後、工夫していただきたいことと、本当により多くの方が参加できるよう、ウェブ参加もありましたから、それも含めて工夫はお願いしたいと思います。

それと、もう一点なんですが、今日の資料の意見等を拝見させていただきますと、本当に変な言い方ですが、恐らく出された意見を加工せずそのまま記述、記載しているなという感想を持ちました。この段階では戸惑っている方、不安な方、ましてや、年二、三回で合意形成が図られていくのか心配だというような生の声が結構ここに書かれているかと思うんです。まずはそういう記載をしていただいたということは、本当に大事だなと思っておりますので、皆さんの不安な気持ちを変に加工するのではなくて、そのまま書いてくださったんじゃないかなと思っております。その点についてと、今後も、どうやって合意形成していくかということでは大変な作業かと思っておりますので、さっき申し上げましたように、工夫して意見を出しやすくしていただくということを改めてお願いしたいなと思います。その点について、御見解をお聞きしたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 今回このように記載させていただいている御意見は、初めて出た御意見ではなくて、これまででも、こういった御意見というものはいただいてきたところでございます。我々としては、こういった御意見というものは、皆さんが、今後、具体的にどのようになるのかがちょっと分からないという不安が意見になって表れたのかなと受け止めているところでございますので、今回、こうやって具体的に不安といった一つの課題が明らかになったということは、逆に言えば、それを対象にテーマを絞って勉強会の内容を考えていけるのではなからうかと捉えているところでございます。ですので、先ほどから申しているとおり、テーマだとか、あと開催方法というのは、十分にこれからも様々工夫の余地があるのかなと、比較的ポジティブに捉えているというところでございます。

○皆川委員 分かりました。マイナスの意見が出たからこそ本来の課題が見えてくるというところで、開催方法も工夫していただけるんだなということで、御答弁ありがとうございます。

最後になります。こちらのコンサルタントを担当していただいております日本工営都市空間株式会社は、ネットで見るとは限りですけども、誠意を持って、会社運営のビジョン、ミッションというのがいろいろ書かれています。今回は公募型選定だったんですが、この委員会の前にどこかの場面でいろいろ御報告していたら申し訳ないんですが、何者が手を挙げて決まったのか、その経緯を最後にお聞きして終わりたいと思います。

○細江駅周辺整備課長 前日も同じ御質問をいただいて、繰り返して恐縮ではございますが、1者の応募で日本工営都市空間に決定したということでございます。

○皆川委員 すみません、議事録を見たんですけど、考えてみたら閉会中はまだ出ていないので、大変失礼いたしました。ありがとうございます。

○鳥居委員 勉強会を開催されたということで、お疲れさまでした。重複なしで31名の参加で、ウェブ配信もされたということで、ウェブ配信だったら参加できるという方もいらっしゃると思いますのでご

よかったと思っております。本当に様々なたくさんの意見が出ているんですけれども、個人的なことから大きな視点でのことです。こういったことを積み重ねていくしかないのかなという、今はそういう段階だと思えます。

次の勉強会に向けて、次のときには何か新しいことが出てくるのか、計画があれば教えてください。

○細江駅周辺整備課長 前回、先ほど申したとおり、説明会のようになってしまったところがありました。ただ、どうしても道路の配置の考え方とか公共施設の配置の考え方に関しては、当然ながら技術的な検討を踏まえた上でといった説明は必要になってくるかなと思っております。今回は、駅前の導入機能といったところで、例えば、駅前広場の配置で、駅前広場を具体的にどのような形状にしていくのかといった少し踏み込んだ内容になってくると、現在考えているところでございます。そういった設計の考え方を前回は少し出し過ぎたかなという反省を踏まえて、設計の考え方は当然あるにしても、例えば、設計の考え方に基づくとか何パターンか考えられますということで参加者に選択肢を提示して、そのパターンに対して、様々な御意見を伺いながら選んでいただけるような内容ができないかなというところで、今、検討しているところでございます。

○鳥居委員 ありがとうございます。もう既に次の計画もあるということで、3か月ということでもかなり短いスパンなんですけれども、また新しいことが出てきますと、着実に進んでいるなということは市民の方も分かっていただけだと思いますので、すごくよいと思います。

地権者については、自らの生活のことなので個人的な意見というのもどんどん出てくるかと思うんですけれども、駅というのは国分寺市民全員の、全体のための財産というか、そういう市民のための再開発であるという視点というのもすごく大事だと思いますので、駅の開発というのは、市全体の価値の底上げとなるという視点、そういった認識を持つことも大事だと思いますが、その辺りはいかがでしょうか。

○細江駅周辺整備課長 鳥居委員がおっしゃったことに関しては私どもも同感でございます。当然ながら駅の利用者、それから周辺の方々の御意見といったものも、今後、必要になってくると考えております。ただ、まずは足元から、地権者の方々の御意見をまずは聞いて、ある程度軸が見えてきたところで、個別の具体的な内容については、どの範囲までの方々の意見を聴くかというのは今後検討しますが、来街者だとか、そういったことも当然考えられますので、これから意見を聴いていく対象は考えてまいりたいと思っております。

○はせべ委員 よろしくお願いたします。先ほど皆川委員の質問で、権利者については前回もお話があったと思っておりますけれども、4.5ヘクタールの範囲の方で、前は120件という方だったんですけども、今回はウェブ配信の方も含めると33名ということでした。間があって、今までもやってきましたが、合意形成について、初めて参加された方と、今までも参加されている方の把握はされているのでしょうか。

○細江駅周辺整備課長 詳細については、今、まとめているところでございますが、これまで参加された方の顔は私どもも覚えておりますので、8割ほどの方はこれまで参加された方々だと思います。新たに來る方々もいらっしゃったことは捉えていますので、今後は、こういった勉強会の資料は公開していますので、地権者同士の方々と共有していただくことも促しながら、参加者を増やしていきたいと思っております。

○はせべ委員 ありがとうございます。今のお話で、8割ぐらいの方はこれまでも参加しているということを知りました。そして、8割といっても、120件の方がいらっしゃるということでは、まだ参加されていない方もいらっしゃると思います。先ほど、皆川委員から西国分寺駅北口周辺まちづくりニュースを

配布してくださっているというお話がありましたけども、こういった勉強会についてや、西国分寺駅北口周辺まちづくりニュースを配布したことで、何かお問合せ等はあったでしょうか。

○細江駅周辺整備課長　まだ配布して間もないというところもあって、この西国分寺駅北口周辺まちづくりニュースに関して直接お問合せがあるわけではありません。勉強会も、呼びかけをした頃は数人からお問合せがあったということを記憶しておりますが、内容というよりは場所だとか開催についての確認という問合せで、中身についての問合せをいただいたということはありませんでした。

○はせば委員　それでも問合せがあるということは、この件について関心があり、きちんと対応していきたいという表れだと思いますので、参加者を増やしていただくということで先ほど手法もおっしゃってくださっていますので、そういうことを積み重ねながら、機運醸成も含めて対応していただきたいと思います。

○森田委員　よろしくお願いたします。私も11月8日に参加できたので傍聴させてもらったんですけど、結構重要なお話をしているような、カチッとした雰囲気が進められたかなと思います。

御担当として、今回31名の方が参加されたというこの参加人数について、どのように捉えていますか。いつも課題になってくるので、予想どおりなのか、もうちょっと参加してもらいたかったかなとか、そういうことをお願いします。

○細江駅周辺整備課長　もう少し参加していただければな、という思いはございます。思ったよりは伸びなかったなというのが、あくまで正直な感想ではございますが、そういう思いであります。

ただ、今回は、結構具体的な内容をお示しさせてもらっておりますので、その内容について少し興味を持たれた方も中にはいるのではなかろうかと思っております。引き続き、参加を呼びかけて、参加者を増やす工夫をしていきたいと思っております。

○森田委員　ありがとうございます。ついて回る課題だと思います。先ほど、鳥居委員もおっしゃっていましたが、ウェブでも配信されているので、そういったことを周知していただいて、まずは地権者の方に興味を持っていただいて、そしてその興味を継続していただくことが重要だと思いますので、よろしくお願いたします。

多々御意見が出たと思うんですけども、感覚でのお答えになってしまうのかもしれないんですけど、街区整備方針策定のための都市基盤の具体化などを、カテゴリー別にいろいろとお示ししていただいているんですけども、皆さん興味があったというか、意見が多く出たり、質問が多く出たり、あと熱量を持って皆さんが質問されていた項目というのは何かありますか。

○細江駅周辺整備課長　一概に言いづらいところはありますが、整備事業が具体的に自分にとってどのような影響があるのかといったことをもっと知りたいといった御意見、それから、私どもは地権者の組織化といったことも掲げておりますので、それをどうやって進めていくべきなのかといった御意見をいただいたという印象は受けております。分からないことがあって当然かなと思っておりますので、またこれから新たなテーマを出せば、それに沿って御意見をいただけるかなと思っておりますのでございます。

○森田委員　ありがとうございます。都市基盤というところがベースになっていますので、丁寧に説明を続けてください。個人に関わるところが非常に興味があるというところなので、意見を吸い上げながら丁寧にやっていってください。

次回について、1月23日と24日に予定されているということなんですけど、こちらの回数というのは決まっているんですか、前回だと3回開催されたということなので。

○細江駅周辺整備課長 現状、前回と同じように金曜日は昼と夜を、それから土曜日は午前中を予定しているというところでございます。

○森田委員 ありがとうございます。先ほど、意見にも出ていたように、前回から時間が空いてしまったとか、資料のボリュームが多いという御意見もいただいていますので、こういった頻度と回数、あと内容というのを、参加された方々の意見をしっかりと酌み取りながら、丁寧に進めていただければと思います。

○木島委員 ありがとうございます。今日は、どういった声が寄せられたかというのが、分かりました。かなりいろいろな御意見が、先ほど課長からも御説明あったとおり、様々慎重な御意見なども含めて、多くの御意見をいただけているということをしかりと前向きに捉えながら、本当にこれまでも大変な道のりで、合意形成をここまで進めてきていると承知しております。この中でもあったとおり、少し専門性が高くなって若干戸惑っているという向きのお話もあったと思うんですけど、少しずつ、そういうフェーズに入っていかなければいけない段階になってきていると思います。丁寧な取組を期待したいと思います。

前回、第2回の勉強会の資料を頂きましたが、すごく整った資料でしたので、恐らく、参加された方も、だからこそいろいろな意見が出やすかったのかなと思っています。

次回の1月の勉強会についてのイメージは、今の質問の中で理解できた部分なんですけど、一方で、今年度中には街区整備方針の骨子案のたたき台を決定するというイメージなんですけど、正式な方針自体は、令和8年度に1年間かけてということになると思うんですけども、第2回の勉強会でもかなりざっくりしたたたき台は出ているんですけども、これをさらに一歩踏み込んでという形にイメージ的になろうかと思えます。

それで聞きたいのは、今年度中に予定されている、1月の先の勉強会の話になるんですけど、意見交換会というのを予定されていますね。これは、勉強会とは別のイメージなのですか。参加者は、今の議論にもあったとおり、これまで出ていただいている方も当然入ってくると思うんですけど、この辺りは、どういうイメージを持たれて開催されるのか、内容について確認させてください。

○細江駅周辺整備課長 3月はその年度の1年間の進捗を報告するといった意味合いで、意見交換会ということを開催したいと考えております。昨年度末も同じように開催いたしまして、年間の取組状況だとかそういったものを御報告させていただいて、その上で御意見をいただいたというところでございます。勉強会に関しては、先ほども申したように、専門的な内容もかなり盛り込んだものとしておりましたが、意見交換会は、あくまで進捗の報告といった場にしたいと考えておりますので、包括的なといいますか、年間を通した検討内容をお示しして御意見をいただくというところで考えています。

また、街区整備方針の骨子といったものを、次回の勉強会でお示するのはなかなか難しいと思っておりますので、まずは、庁内でそういったものが整理できるのかといったことを、今年度をめどに検討を進めていきたいと考えているところでございます。

○木島委員 分かりました。よく企画を練られて、このように勉強会で意見が言いやすい環境というか、先ほど、皆川委員や森田委員から、実際にこの勉強会を傍聴されて感じられたこととお話しいただきましたけれども、そういったことも踏まえて、こういった意見交換会の在り方というか、より多くの方からいろいろな意見があることを前提に、本当に、我が事としてより多くの方に参加していただけるような意見交換会になればいいなという期待もありますので、引き続き、丁寧に進めてほしいと思います。また、議会に対しても、こういった情報共有を引き続きいただければありがたく存じますので、よろしくお願ひし

ます。

○小坂委員　これまでの質問で、現状について大変よく理解したところです。本委員会にも毎回資料を出していただきまして、また、西国分寺駅北口周辺まちづくりニュースをウェブでも公開していただいて、市民の方への周知というのも丁寧にやっただいているなと理解しているところです。また、今、木島委員から質問がありました勉強会と意見交換会の考え方とか開催については、私も伺おうと思っていたところです。

そこで、今の関連なんですけれども、かつての開催の履歴などを見ますと、年に数回、意見交換会をされていた時期もあったかと思えます。ここ数年は、先ほど御答弁がありましたように、年度末に1回というようなことなんですけれども、それは先ほど御答弁いただいたように、勉強会のほうでしっかり情報共有とか専門的なことを御理解いただき、意見交換会については進捗の報告と整理をされているのかなと思ったところではあるんですが、今後も、意見交換会については年1回程度なのか、勉強会についての頻度も含めて、その辺をもう少し御説明いただけますでしょうか。

○細江駅周辺整備課長　先ほどの繰り返しというわけではないんですけども、勉強会と意見交換会の違いを改めて申し上げます。意見交換会に関しては自由参加という形で開催しておりますので、様々な方が御意見を言える場と捉えております。それから、勉強会に関してはこちらから呼びかけをして、なるべく10人程度の人数で、お互いが意見を交わせるような場ということで、少し人数を絞った形で開催して、地権者同士で意見交換もできるような場を考えているところですので、そういった違いがございます。

勉強会の開催頻度に関しては、テーマを設定して、それから準備してということもありますので、3か月に1回というペースが一番現実的なのかなと思っております。

それから、意見交換会に関しては、いわゆる説明会形式というわけではないですが、報告会といった性質がありますので、年度の区切りとして開催していくものというように考えているところでございます。

○小坂委員　ありがとうございました。先ほど、勉強会については、地権者の方に郵送でお知らせをしているということだったんですけれども、年度末の意見交換会について、周知の仕方についてお伺いいたします。

○細江駅周辺整備課長　現在、検討中ではありますが、このエリアの方々には、改めて御連絡させていただこうと思っております。また、ホームページといったところでも呼びかけをしていきたいと思っておりますのでございます。詳細が決まったら、また報告できるかなと思っております。

○小坂委員　報告会ということで、先ほど自由参加というようなこともありましたので、広く現状について市民の方に御理解いただくよい機会になるのではないかなと思っておりますので、引き続きの御検討を、ぜひ、よろしくお願いいたします。

○森田委員　西国分寺駅北口ということで、北口の金網で囲まれた未利用地なんですけど、寒い時期なんですけど、今後、何かイベントの活用の予定とか、何か進展があれば教えてください。特になければ大丈夫なんですけれども。

○秋山西国分寺駅等周辺まちづくり担当課長　前回の定例会でも御意見をいただいたところです。今年度中はちょっと厳しいかなというところですが、今、鋭意検討を進めているところでございます。現状は、この程度の内容でしか御説明できません。

○森田委員　ありがとうございます。今のお話を伺っていて、イベント活用もそうなんですけど、こういった勉強会というか、駅前の開発等のインフォメーションをパネルとかで展示するようなこともできます。

もうちょっと具体的に話が進んだ際とかでも、イベントだけではなく、展示も含めて、いろいろと多々、そのほかのことにも活用できますので、ぜひ、そういった多面的な活用を考えていただいて、進めていただければと思います。

○松岡委員 簡単にお伺いします。これまでの質問でとても理解が進みました。今回の資料を見ましても、本当にいろいろな御意見があり、合意形成されていくことは難しいだろうなど見ているところです。また、気兼ねなくお話しできる場づくりというところも必要だと思えますけれども、今日の御質問で一定理解しています。

皆川委員から質問がありましたけれど、今回は、公募型プロポーザルということで1者が選定されているのですが、去年の建設環境委員会などでもこの報告はされていたところで、今までの事業者はプロポーザルじゃなかったと思うんですが、この辺の違いというか、なぜ今回はプロポーザルにしたのかというところをお聞きできたらと思います。

○細江駅周辺整備課長 これは、令和3年度に遡る話になろうかと思いますが、これまでは、単年度でこういった検討業務の支援という形で委託していたところがございます。まだ、ここまでの検討が進んでない段階では、単年度でコンサルタントに委託して検討内容を詰めていくという作業をしておりまして、このような単年度での契約をしてきたところがございます。今年度から、まず一つは、街区整備方針といった都市計画の素案に近いものを策定していくという明確な目標といたしますか、そういったものがあって、それは単年度で実施できるような性質のものではなく、複数年で検討していくという中で、通常の指名競争入札では有効な提案がいただけるかどうか分からないといったところがありましたので、様々なこういったノウハウのある事業者を効率的に募りたいというところから、公募型プロポーザルで選定したというところがございます。

○松岡委員 分かりました。今の御説明で効率的なというところであったり、公募型プロポーザルということでより公平性などもあるのかなと思っていたところです。合意形成を図るということや勉強会の開催など、今までできてきたものもそのまま入っていると思うんですが、すごく大事なところでは事業者の力量というか、事業者のノウハウが本当に大切なと思いますので、今後もその辺りを見ていただけたらと思います。

○寺嶋委員長 ほかに質問はございますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 ないようですので、報告事項1番を終了いたします。



○寺嶋委員長 次に、報告事項2番 **その他**について、報告はございますか。

○秋山西国分寺駅等周辺まちづくり担当課長 西国分寺駅東側市有地借地権設定契約再契約の締結に向けた合意状況について、御報告いたします。資料はございません。口頭での御報告となります。

合意書につきましては、双方の法務チェックを経まして、今、それぞれの意思決定プロセスを踏んでいる状況でございます。順調に意思決定が進めば、12月下旬には合意書を取り交わせる見込みでございます。合意内容につきましては、合意書の締結後、庁内手続を経まして、速やかに議員ポスティングによりお知らせしますとともに、次回の本委員会で御報告させていただきたいと考えてございます。

御報告は以上です。

○寺嶋委員長 ありがとうございます。報告が終わりました。本件に関して質問はございますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 ないようですので、報告事項2番を終了いたします。

以上で、報告事項を終わります。

続いて、陳情の審査を行います。説明員の皆さんは以上となります。

ここで、委員会を暫時休憩いたします。

午前10時11分休憩

午前10時41分再開

○寺嶋委員長 委員会を再開いたします。



○寺嶋委員長 **陳情第7-5号 c o c o b u n j i E A S Tビル1階店舗共用扉の自動ドア化を求める陳情**を議題といたします。

初めに、調査担当からの説明を求めます。

○鈴木議会事務局次長 それでは、陳情第7-5号、c o c o b u n j i E A S Tビル1階店舗共用扉の自動ドア化を求める陳情につきまして、御説明いたします。

本陳情は、令和7年11月5日受理、国分寺市本町2-2-1-3401号、c o c o b u n j i E A S T管理組合第8期理事長、永岡丈治氏外連署者10人の署名を添えて提出されたものとなっております。署名者の内訳といたしましては、10人とも市内の方となっております。

陳情の要旨につきましては、お読み取りいただければと思います。

陳情事項につきましては、c o c o b u n j i E A S Tビル1階店舗共用扉について、現状が観音開きの扉であるところ、これを自動ドアに改良する工事の実施を求めるという内容でございます。

陳情の説明は以上でございます。

○寺嶋委員長 ありがとうございます。調査担当からの説明が終わりました。

それでは、審査に当たって御意見等のある方は挙手をお願いいたします。

○木島委員 ありがとうございます。この陳情なんですけれども、国分寺駅北口再開発ビルが竣工して以降、こういった課題について改善を求める陳情であります。それで、ここで求められている、まさに自動ドアへの改良に向けて、そもそも、現状が観音開きの扉になっているかということについて、いろいろな様々な検討過程の中で、こういう状態にするとして当時は判断したということだと思います。これを可能な範囲で調べていただきたいという要望になります。現状のこういった扉の設置となった当時の検討過程が分かれば、この後の私たちの審査を進める上で理解しておきたいポイントの一つなのかなと思いますので、その点についての調査をお願いできればと思います。

○鈴木議会事務局次長 ただいま木島委員からお求めがありました、現状、観音扉になっているというところについて、どのような経緯でこのようになっているのかといったところの検討過程を調査させていただければと思います。

○寺嶋委員長 ほかに御意見はございますか。

(「なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 ないようですので、それでは、ただいま木島委員から御意見が出され、調査の依頼が出されました。したがって、陳情第7-5号について、継続審査とすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○寺嶋委員長 御異議なしと認め、本件は継続審査とすることに決しました。

それでは、以上をもちまして国分寺駅・西国分寺駅周辺整備特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時45分閉会